

女性社員の活用と自社ブランドの立上げ 社員各自と全社員・会社の思いを合わせる

医療・自動車・電気制御盤・工場設備等の部品の精密板金加工全般を受託する町工場。高性能工作機械と熟練職人による高度な技術力・対応力で、表面处理・組立作業を含めた製品の一貫生産から、パーツ部品製作まで、対応している。また、2015年から、自社技術を活用してアクセサリやインテリア用品などを製造し、自社ブランド「三代目板金屋」で海外にも展開している。女性目線での企画・加工・開発も加えて、板金職人のやりがいや夢を作り、技術を次代につなぐ取組を進めている。

- | | | | |
|----------|---|--------|-------|
| ● 所在地 | 静岡県静岡市清水区長崎241 | ● 設立 | 1970年 |
| ● 電話/FAX | 0543-45-2186/0543-46-4392 | ● 資本金 | 300万円 |
| ● URL | https://www.yamazaki-metal.co.jp/ | ● 従業員数 | 24人 |
| ● 代表者 | 代表取締役社長 山崎 かおり | | |



担い手確保

女性社員の活躍と自社ブランド「三代目板金屋」の立ち上げ

従来の板金加工品の開発は、企画・設計・製造まで、男性の視点で進められてきた。自社ブランド「三代目板金屋」の板金加工品では、精密板金加工職人と女性社員が連携して創ることにより、製品に対して、女性の視点や感性を吹き込み、ものづくりの現場に女性が活躍する場を持ち込んだ。また、展示会やSNS等を通じて、消費者・女性にも伝わるよう板金技術と職人の「カッコよさ」について発信している。この効果で多くの関心を高め、熟練の板金職人の働き甲斐や若い職人の技術承継への意欲を高めている。



三代目板金屋「KANZASHI」

ものづくり

社員の声を直に会社経営に反映

これまで男性だけが使うことを想定して設計、設備配置されてきた作業場について、女性社員の声を反映して、重量物を持たなくてもよいような設備の導入や棚の高さの低めの設定等により、女性にも働きやすい職場へと変更した。また女性の視点での5S活動も実施している。コミュニケーション面では、社長と社員それぞれとの対話の機会を設けるなど、社員の自発性を引き出す取組を進めることにより、特に自社製品開発などの企画・提案力が求められる業務において、議論が活発になされるようになっている。



板金女子と男子の力の合わせ技

全社会議・小グループ活動で、社員一人ひとりと意識合わせ

社長は、人材育成について、画一的にではなく、社員各自の状態や考えに合わせて行うものと考えている。そのため、社員が考える自己の成長と会社の方向性について、社員、経営者が議論・意思疎通を図り、社員と会社が同じ目標に進めるように配慮している。さらに、社員各自が考える自己の成長と会社の方向性については、社員間での共有・すり合わせも必要と考え、社員全員参加の全社会議と小グループ活動を開催している。現在の経営理念は、全社員で策定したもので築き上げられている。



老若男女でドリームマップを作成